

## 家電機器特集号に寄せて

Foreword to Special Issue on Technology of Home Appliances



田代正登  
Masato Tashiro

三菱電機技報「家電機器特集」号の刊行に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

当社のリビング・デジタルメディア事業本部は、ルームエアコンや業務用エアコンなどの空調冷熱事業、IH (Induction Heating) クッキングヒータや電気温水器などの電材住設事業、冷蔵庫や洗濯機などの家事家電事業、テレビや大型映像表示装置などのデジタルメディア事業の4つの事業分野から成り立っている。これらの4事業分野に共通することは、「快適な住生活環境、オフィス・店舗などを含めた快適生活環境」の提供であり、「生活に欠かせない利便性の高い家事空間」及び「くつろぎ・楽しみの映像空間」の提供である。言い換えれば、人との直接的なインタフェースを持つこと、また、暮らしに密着していることである。

そこで、「人も地球も気持ち良く ユニ&エコ (ユニバーサルデザイン&エコロジー)」をスローガンとして設定し、常にマーケットや顧客に目を向け、マーケティングに立脚した開発力・技術力で、豊かで持続可能な暮らしを提案するソリューションビジネスの展開を本部全体で推進している。特に住宅向けの分野では、「おいでよ！ユニ&エコのある家」をキャッチフレーズに「e家まるごとソリューション」提案に重点的に取り組んでいる。

事業分野のうち、空調冷熱事業、電材住設事業の事業環

境は、短期的には、原料/エネルギーコストの高騰、中長期的には温暖化対策に伴うフロンガス規制、省エネルギー規制強化など、大きな変化が続いている。これらの製品群において、モータやパワーデバイス、センサなどのコア技術を核に、小型化・高効率化で本質的な競争力を発揮し、脅威をビジネスチャンスに変えていく。今回の特集では、この事業分野から「家庭用ルームエアコン」と「IHクッキングヒータ」を代表的な例として紹介する。

家事家電事業に関しては、ニーズの2極化が進んでおり、高価格商品も納得して買ってもらえる反面、当たり前機能に対しては、一層、低価格、高品質を厳しく要求される。これらの商品群において、「本炭釜」など高付加価値商品に代表される驚きのオンリーワン商品を創出するとともに、使いやすさと環境配慮にこだわった「ユニ&エコ商品」の開発で、基本の「ものづくり」を大切にしていこう。今回の特集では、この事業分野から、「Wclass冷蔵庫」「Wclass炊飯器」「本炭釜」「高性能空気清浄機」「低騒音クリーナー」の技術を代表的な例として紹介する。

今後とも、顧客の視点に立った「より良いものづくり」の推進により、顧客に一層の満足を提供し、持続可能な社会の実現に貢献できるよう挑戦を続けていく。

皆様のなお一層のご助言、ご指導をお願いする次第である。